

# グルジア政治・経済 主な出来事

【5月13日～5月19日】2013年

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年5月21日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

グルジア国会が、被占領地域への不法入国についての法律改正案の第一読を承認(18日)

・現行法では、被占領地域への国外からの入国が明らかになった場合、その他の地域への不法入国と同様に、刑法犯として処理される。改正案は、それを初回に限り行政処分(罰金400ドル)で済ませるとするもの。

・被占領地域とその他の地域を法的に区別するものとして野党が反発し、議論が長引いていた。最終的に、野党は他の地域への不法入国についても初回は行政処分を適用するよう要求。

・ウスパシヴィリ国会議長によれば、被占領地域とそれ以外の地域を統一的に扱うことに関して、別の修正を検討する作業部会を設置することで与野党が合意した。

#### 【アブハジア】

アブハジア「政府」がグルジア人へのアブハジア共和国のパスポートの交付を一時停止(13日)

・アブハジアのパスポートが「不法に」グルジア人住民に交付されているとして、野党が「政府」を非難していた。野党によれば、本来、アブハジア市民権を得るためにはグルジア市民権を放棄しなければならないが、「政府」はその確認を怠っている。アブハジアの「法律」は、ロシア以外の国とのあいだの二重国籍を禁じている。

・2013年4月の国際危機グループの報告によれば、ガリ地区の住民の多くはアブハジアとグルジアの両方のパスポートを持っているが、「当局」がグルジアのパスポートを発見した場合には、グルジアのパスポートは没収・破棄される。

・アブハジア「政府」が2011年に行った調査によれば、現在アブハジアに暮らすグルジア人は、ガリ地区を中心に46,000人以上、全人口の約19%。グルジア人住民に広くアブハジア市民権を付与するのは「国家の安全を損なう」として懸念がある。

・ラコバ「安全保障会議議長」によれば、2013年2月末までにガリ地区およびトクヴァルチェリ地区のグルジア人住民に対し、22,724通のパスポートが交付されている。

ショイグ露国防大臣がアブハジア・グダウタの露軍基地を訪問(14日)

2つの公式検問所が開設される(15日)

・メオレ・オトバイアとナバケヴィに公式の検問所が開設された。歩行者のみ通過できる。

・ブジャニア・アブハジア「安全保障局局長」によれば、

近くもう1つの公式検問所が開設される予定。

アブハジア「保安庁」と露連邦保安庁が協力文書に署名(15日)

「沿ドニエストル共和国政府」代表団がアブハジアを訪問(17日)

#### 【南オセチア】

南オセチア「政府」が欧州評議会議員会議(PACE)の訪問を拒否(13日)

・PACE代表団が訪問を申し入れたのに対し、「PACEが南オセチアの独立を認め、南オセチアがPACEにおいて自らの立場を表明する機会を与えられない限り、代表団が南オセチア領内に入ることを認めない」とのコメントを発表。

予定されていたティピロフ「大統領」とプーチン露大統領との会談が延期される(13日)

・14日に予定されていた会談が21日に変更になった。ティピロフ「大統領」によれば、「プーチン露大統領の過密なスケジュールのため」。

ジュネーブ会合の共同議長代表団が南オセチアを訪問(17日 18日)

・ルフォールEU南コーカサス特別代表とデシツァOSCE議長国特別代表がジョエフ「大統領代表」と会談。

あらたに南オセチアを承認する国が現れる可能性

・露紙「トリブナ」のインタビューで、メドエフ駐ロシア南オセチア「大使」は「間もなく、少なくとも一カ国があらたに南オセチアを承認するだろう」と述べた。詳細については、21日に予定されている「ティピロフ南オセチア「大統領」とプーチン露大統領の会談の際に発表される」としている。

### 2. 外政

アフガニスタンでグルジア人兵士3人が死亡(13日)

・ヘルマンド州の基地で自爆テロが起き、3人が死亡、負傷者27人。負傷者の数は2009年にグルジア軍が派遣されて以降最大。これまでの死者数は累計22人。

・遺体は16日にグルジアに到着。政府は16日を服喪日と宣言した。

・グルジアは現在、非NATO加盟国で最も多い1,560人以上の兵士を派遣している。

パンジキゼ外務大臣がハンガリーを訪問(13日 14日)

- ・ハンガリーの国会議長、国務大臣、外務大臣と会見。
- キピアニ・スポーツ・青年大臣がバクーでアゼルバイジャンのラヒモフ・スポーツ青年大臣と会談(14日)
- PACEのグルジア・ロシア関係モニタリング委員会の代表団がグルジアを訪問(14日 15日)
- ・モスクワ訪問後にトビリシを訪れた。委員会は2008年の戦争後の合意事項の履行を検証している。
- ・15日、ザルカリアニ第一外務次官と会談。
- サーカシヴィリ大統領が訪米(14日 17日)
- ・過去1カ月で2度目の訪米。度重なる外遊について、目的が不明であるとして、国会では与党連合から批判の声が上がった。「サ」大統領によれば、「今回の訪米は、米国の次期リーダーたちに会うため」。
- ・14日、ワシントンでルピオ共和党議員と会談。
- ・15日、下院で演説。
- ・16日、ニュージャージー州知事と会談。
- ・17日、クリントン元米大統領と会談し、「聖ギオルギ勝利勲章」を贈る。

パンジキゼ外務大臣がストラスブールで開かれた第123回欧州評議会閣僚会議に出席(16日)

- ・EU、NATO加盟を目指す方針を確認し、被占領地域の問題について話す。「欧州評議会の構成国による他の構成国の領土の占領を議論しなければならないことは残念だ」と述べた。

アラサニア国防大臣がヘーゲル米国防長官と電話会談(16日)

パンジキゼ外務大臣がポーランドで行われたVisegradグループおよび東方パートナーシップ(EaP)の外相会談に出席(18日)

- ・会談後の共同声明は、「ヴィリニウスサミットにおいてモルドバ、グルジア、アルメニアとの連合協定と自由貿易協定に向けた協議を始めることに対する強い支持」を表明。

- ・アシュトン EU 外相、フューレ欧州委員会拡大担当委員と会談。

サーカシヴィリ大統領がタイを訪問(19日 - 20日)

- ・19日、チェンマイで開かれた第2回アジア・太平洋水サミットに出席。
- ・インラック・タイ首相、トンシン・ラオス首相と会談。

### 3 . 内政

2008年の戦争における戦争犯罪を調査する委員会が検察当局内に設置される(14日)

- ・委員会は内務省、国防省、検察の代表者8人から構成される。

フヴェデリゼ第一内務次官が保釈される(15日)

- ・12日に「個人・家族の秘密の不法な利用・公開」の罪で逮捕されたフヴェデリゼ第一内務次官が、5,000万ラリの保釈金を払って保釈された。予備審問は7月2日に予定

されている。

国会が放送法改正案の第一読を承認(17日)

- ・改正案は与党連合「グルジアの夢」が提出したもので、放送局の資産状況の透明化、公共放送局の評議員の構成の変更、Adjara TVの公共放送化を含む。
- ・現行法では、公共放送局の評議員15名は大統領が選んだ候補のなかから国会が決定する。改正案は評議員を9人とし、大統領はその選出に関与しない。
- ・Adjara TVは現在アジャラ自治共和国政府に属するが、改正案により公共放送局の関連会社となる。

同性愛者の権利擁護デモ(17日)

- ・「国際反ホモフォビアの日」にちなんだデモを同性愛者の権利の擁護を求めるグループ「イデントバ」が企画。同日、同性愛に反対する人々のデモも計画された。
- ・昨年のデモでもみ合いが起こったことを踏まえ、14日、イヴァニシヴィリ首相は記者会見で「同性愛者も我々と同じ市民であることを受け入れねばならない」と述べた。
- ・16日、グルジア正教会は政府に対し、デモ開催に対する許可を取り消すよう要請。
- ・17日、トビリシ市中心部には大量の警官が配備され、バリケードがつけられたが、同性愛反対のデモに集まった正教会の聖職者を含む大勢の人々がバリケードを突破。
- ・「イデントバ」のデモを行うことはできず、参加者を警察がバスに乗せて避難させる際、人々がバスを襲撃。警官、記者を含む28名(保健省発表)の負傷者が出た。
- ・内務省は暴力事件として捜査を開始。
- ・EUは「あらゆる手段をもってすべての市民の人権を守る」よう政府に求める声明を発表。

### 4 . 経済

タタ・パワー(印)、クリーンエナジー・インヴェストAS(ノルウェー)、IFCインフラヴェンチャーズ(ノルウェー)がアジャラ地方での水力発電所の建設に対する投資を発表(13日)

- ・総額約7億ドル。2016年前半までに185MWの発電を可能にし、最終的に400MWを発電する予定。発電された電気は主にトルコに売却される。

アジア開発銀行がトビリシ・ルスタヴィ間の幹線道路の敷設を資金援助(13日)

- ・地域発展・インフラ省が発表。531百万ドルの支援。

4月の生産者物価指数は前月比0.8%低下(15日)

- ・前年同月比でも0.8%低下。

イヴァニシヴィリ首相が国際金融公社(IFC)の代表団と会談(15日)

- ・IFCは金融・工業・インフラ部門にこれまでに49のプロジェクトで6億ドル以上を投資している。現在進められているプロジェクトや将来の計画について話し合った。

4月のワインの輸出は前年同月比32%増(15日)

・グルジアワイン協会が発表。4月の輸出量は507万リットル。主な輸出先はウクライナ(全体の43%)、カザフスタン、ベラルーシ、ラトヴィア、ポーランド。

・グルジアアニ地区のいくつかの村で激しい雨と雹により、インフラや農作物に大きな被害が出た。トビリシ・テラヴィ間の道路の通行が遮断され、約10,000戸が停電。カヘティ知事は復旧に対する支援と被害の補償を政府に要請。

#### 4 . その他

カヘティ地方で大雨・雹による被害(14日)